

まちの話題

新酒の季節です

朝晩の冷え込みが厳しくなってきた12月9日、通潤酒造(株)の正面玄関に、新酒が出来上がったことを示す「杉玉」が掲げられました。昨年の冬に掲げられ、茶色になった杉玉をおろし、新しい真緑の杉玉が、従業員の方々の手により、ゆつくりと掲げられました。この日は熊本朝日放送の取材カメラも杉玉が掲げられる様子を撮影していました。この青々とした杉玉が掲げられると、商店街は師走の装いと新年を迎える準備に入ります。



第35回清和支部長旗争奪バレーボール大会

優勝 なかなかイケメンズ
2位 38会
3位 役場



なかなかイケメンズ

消防団音楽隊定期演奏会

山都町消防団音楽隊HALの定期演奏会が12月3日、矢部保健福祉センター千寿苑で行われました。消防団音楽隊HALは、今年も火伏地蔵祭りや文楽の里祭りなどで演奏を披露してきました。第17回を迎えた定期演奏会では、「A列車で行こう」など10曲を演奏。さらに観客を楽しませるため、HALの演奏で歌うのど自慢大会や指揮者体験などがありました。のど自慢大会では、岡村虹乃ちゃんがHALの伴奏で「アンパンマンのマーチ」を歌い上げ、会場から温かい拍手が贈られました。



自慢の歌を披露する岡村虹乃ちゃん

おもいやりを託した風船

11月21日、清和小学校の全児童が、育てた花の種入り袋をつけた風船を秋の青空に放ちました。花を育てることを通し、思いやりや命の大切さを育てようという「人権の花運動」の一環で、人権擁護委員上益城協議会が種を提供しました。4月にアサガオなどを育てはじめ、秋に種を収穫。風船に付けた種の袋には「私たちが育てた花の種です。大事に育ててください」といったメッセージが添えられています。児童たちは歓声を上げて風船を空に放ち、その行方をいつまでも見守っていました。



風船を飛ばす清和小の児童

三遊亭遊馬 独演会

勤労感謝の日の11月23日、落語家三遊亭遊馬さんの独演会が開かれ、清和地区に笑いが届けられました。この三遊亭遊馬さんの独演会は、昨年続き今年で2回目。小峰自治振興区の主催で開催され、会場となった清和基幹集落センターには、小峰地区の方々など約100人が集まりました。自他共に認める落語界一の大きな声で落語「佐野山」と「代り目」を披露。会場は大きな笑いに包まれました。



蘇陽中修学旅行でPR

蘇陽中学校の2年生42人が、12月4日、修学旅行先の大府で、町の特産品の販売や観光PRを行いました。販売体験と地元の良さを再発見するために企画されたもので、今回が初の試み。会場となった豊中市の商業施設「せんちゅうパル」で、手作りのパンフなどを使い、大声で山都町をPR。ブルーベリージャムやゆずもろみなどの特産品を一生懸命売り込みました。会場には、関西支部会の方々や「くまモン」も応援に駆けつけ、用意した商品は1時間ほどで完売しました。収益は東日本大震災の支援金に使われます。



オランダのクリスマスケーキ作り

11月28日、清和中学校の生徒が、町ALITでオランダ出身のヨースト先生の指導を受けて、オランダの伝統菓子「ペッパーノートン」に挑戦しました。これは、食育と国際理解の授業の一環として行われたもので、ヨースト先生のお母さんから送られてきた、シナモン味のスペキュラーズという粉を使って作りました。調理中は英語での説明だったため生徒は苦戦していました。完成後は「delicious, yummy (おいしい)」と感想がでるほど良い仕上がりがだったようです。



御岳小で門松づくり

12月9日、御岳小学校6年生の児童9人が門松作りをしました。小学校での生活が残り数ヶ月となった6年生の思い出づくりに行われたもので、講師は地域の門松づくり名人、村山光雄さん(小笹)です。古いタイヤなどを利用して作る門松にゼンリョウ・花キヤベツなどを飾り付けます。児童たちはそれぞれ、来年迎える中学生生活への希望を込めるように作業を行いました。約1時間の作業で出来上がった門松は、御岳小学校正門に飾られ、新たな年を迎える準備が整いました。

